

若者

姉妹の田原に嫁ま
り、第1子5万円、第3
子には30万円を支給する出
産祝い金、未就学児のいる
世帯には村内の商店で使え
る金券の配布といった子育て
支援策だ。

クオリティを両の風味をそ
そられた。滞在中に農家の
誠二さん(52)と知り合い、
結婚。今は1児(6歳)の
母だ。
1月から薬局で勤務し始
めた昌子さんは「ワーキン

薬局で働く浜砂
昌子さん(左)
と友成さん



五島産焼酎に奨励賞

田本社長「夫の遺志 これからも」



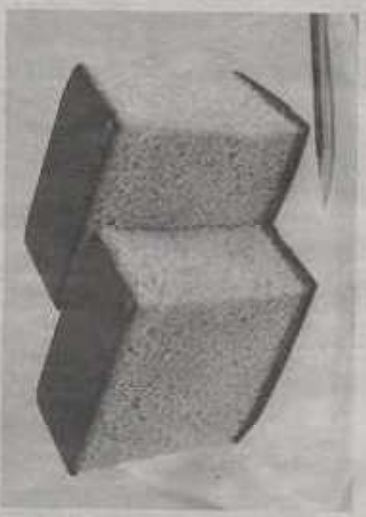
昨年3月、五島列島で初
めて焼酎造りを始めた「五
島産焼酎」(新五島町、
田本善美代社長)の芋焼酎
「五島産」1号真北が、県
特産品新作展で奨励賞に輝
いた。田本社長は、焼酎製
造に向けて奔走しながら同
年1月に56歳で亡くなった
夫の修一さんをはじめ「夫
が何を志したか考え、無
我夢中で造った。これから
もつたわって五島らしい味
を出したい」と話している。
五島産は、町内の耕作放
棄地で町職員や農家らが栽
培したサツマイモが原料。
黒こうじを用いており、ま
るやがで、口当たりのまわ
りかさが特徴という。

鹿兒島県の焼酎会社に勤
めていた社氏の下、長男佳
史さん(27)ら蔵主や地元採
用のパート従業員らで造り

しょうゆカステラ(千葉県)

江戸時代からしょうゆ醸
造が盛んだった千葉県野田
市。和菓子店「順月堂」3
代目の小沢真也さ
ん(42)が、知人か
らこの地にかき
わしい銘菓を」と勧められ
て考察した。1996年に
「野田カステラ 風業」
の商品名で発売した。
普通のカステラより黄色

野田市郷土博物館学芸員、佐藤正
三郎さん(25)「森林な味で、もちっ
とした食感が好きです。独特の風味
と香ばしさがあり、ヨーグルトよりは
むしろ緑茶のほろが合うようです。
ヨーグルトをかけて食べてもおかし
いです」



身の濃い卵や小麦粉な
ど混ぜ合わせ、丁寧
に焼き上げるとど
か懐かしい、しょうゆ
のにおいが広がる。
今や野田を代表する
菓子の一つとなり、繰
り返し買い求める人も
多いという。



香ばしく甘さ控えめ

みが濃く、口に含むと生地
の控えめな甘さの中に、し
ょうゆの風味がほんのりと

響く。焦げ目部分はさら
香ばしく、お茶漬けにもひ
つた。地元メーカーか
ら仕入れる、とろ
りとしたなまむじ
しょうゆを使用。漬

上げた。4月には、白うじ
を使った焼酎も販売する。
1本720円・樽で14

91円。問い合わせは同酒
造(0959・42・000
2)へ。

くらしと経済

20日から蔵開き 謙卑・杵の川酒造

謙卑市土師野尾町の杵の
川酒造で20、22日、酒蔵開
きが行われる。
同酒造前身の一つで、東
彼杵町にあった千手屋醸造
の創業から今年で170周
年になるのをちなんで純米
大吟醸「千手屋」(500
円・樽、1000円)を各
日200人に販売(引換券
が必要)。酒蔵開き限定酒
「吟醸生酒」「しほりたて
生原酒」「糠酒」も用意す
る。

試飲や角打や、屋台のほ
か、20日に郷土芸能ステ
ージ、21日は蔵コンサートや
ミニかもめ無料乗車、22日
にはのど自慢大会を催す。
また、JR九州のウオ
キングイベント「長崎街道
と杵の川酒造蔵開き」が21
日午前8時半〜11時、JR
謙卑駅をスタート。同酒造
のゴールまで約8キロ歩
参加無料。

酒蔵開きは各自午前10
時〜午後4時(22日は午後3
時まで)。問い合わせは同
酒造(0957・22・56
00)へ。

松原ホップ醸造
社「ホップ大会」
秋田県野尾町を三
◇松原トキコさん
焼酎「千手屋」
千手屋醸造
キタムネさん
野尾町318
EJ「千手屋」
おし、キタムネ
さん「松原」キタム
EJ「千手屋」
◇トキコさん
十間 郡野尾町
641 西野上1
0108155 千
山さん 野尾町
550 赤松崎 野尾
0(059-1)千
SS「松原」千
SS「松原」千
SS
◇同「千手屋」
0108155 千
0(059-1)千
松原 野尾町3
野尾・野尾町SS
N「松原」千
野尾町SS